

教材と支援機器のちがいてなに？

学校生活の中でICT機器を使う場面はたくさんあります。授業中にタブレットのアプリを使ったり、昼休みにおもちゃをスイッチで操作したり…それらの機器を人によって「支援機器」「ICT教材」と呼んだりして、違いが曖昧になりがちです。

今回は「ビッグマック」と呼ばれる機器を紹介しながら、両者のちがいを考えてみます。



Big Macってこんな機械

大きめのスイッチ型の機械で、押すと予め録音しておいた音声を再生することができます。基本的に一つの音声しか録音できませんが、複数の音声を録音できる「Step By Step」や小型の「Little Mac」など、色々な種類があります。また、おもちゃなどに接続して、スイッチを押すことで動かすこともできます。

こうした音声を録音しておいて、コミュニケーション支援に用いる機械をVOCA(Voice Output Communication Aid)と呼びます。

教材として使うと…

教材とは子どもの興味関心を引き、活動に取り組むことで発達を促すためのものです。特に肢体不自由校では子どもの主体的な動きや活動を引き出すために使われます。

例) Big Macに好きなキャラクターの音声を入れておく



支援機器として使うと…

支援機器は本人が「やりたい」という気持ちをもっているけれどうまくできない(やり方がわからない)時に、その困りを解消するために使用します。

例) Big Macに好きなキャラクターの音声を入れておく

